

所 属 鳥取県漁業協同組合（賀露支所）

氏 名 はまなか とおる
浜 中 亨 （51歳）

船 名 だいいちかいようまる
第 一 海 洋 丸 95トン

漁業種類 沖合底びき網漁業



～多国籍軍を率いる第一海洋丸船長～

田後のいか釣り漁家出身の浜中さんは、賀露で沖合底びき網漁船「第一海洋丸」に乗る漁師だ。中学校卒業後、田後で沖底船に乗り込み経験を積んだ。結婚とともに賀露に移り住み、6年前から第一海洋丸の船長となった。「夏にまとまった休みを取れるのがこの漁の唯一いいところ」と冗談じみて話すが、浜中さんが言うとなぜか辛さよりも明るいイメージが先に浮かぶ。初めてお会いした時に感じた優しい印象は、会話にも滲み出ている。

そんな浜中さんが船長をする第一海洋丸は、賀露の沖底船5隻のうち唯一外国籍（インドネシア）の船員を抱える。県内ではまだ少ないこの事例だが、第一海洋丸がチームワークよく操業できているのは浜中さんの優しい人柄によるところが大きいと感じた。

第一海洋丸が所属する賀露支所は、県東部にある沖底船の拠点の中でも、沖底船の隻数が最も少ない。将来の目標について「大したことは言えないが、これからも船長としてやっていけたらいいと思っている」という心強い言葉をいただき外に出ると、猛吹雪だった賀露港に日が射していた。

～多くの仲間とともに～

浜中さんと一緒に“元気な漁業者 Part 1”を眺めながら、取材は進んだ。こいつは同期だし、こいつとは昨日一緒に飲んだ、なんて話しながら、仲良しグループみたいなのがたくさんあるんだよ、と教えてくれた。漁師に情報交換は欠かせないが、浜中さんの人柄ならきっと多くの“仲良しグループ”に入っているに違いない。

（文責：徳安 理敬）